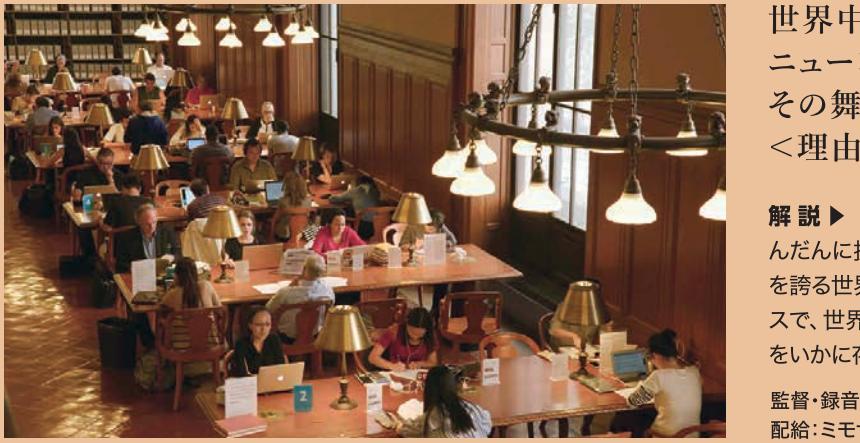


## ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス



世界中の図書館員の憧れの的、  
ニューヨーク有数の観光スポット、世界最大級の知の殿堂。  
その舞台裏から、この図書館が世界で最も有名である  
<理由>が見えてくる。

**解説** 「世界で最も有名な図書館」といわれるニューヨーク公共図書館の舞台裏をふんだんに捉えたドキュメンタリー。本館を含む計92の分館に6000万点のコレクションを誇る世界屈指の知の殿堂は、地域の住民はもちろん、研究者たちへの徹底的なサービスで、世界中の図書館員の憧れの図書館と言われている。デジタル時代になり、図書館をいかに存続させるか、世界中で大きな関心事となっている現代に必見。

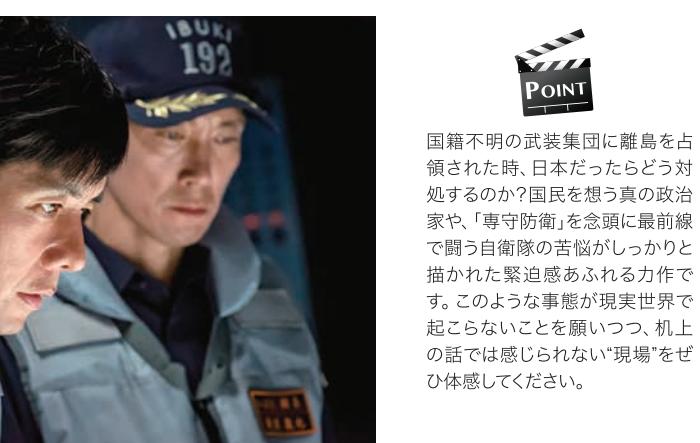
監督・音響・編集・製作:フレデリック・ワイズマン  
配給:ミモザフィルムズ/ムヴィオラ 時間:205分 © 2017 EX LIBRIS Films LLC - All Rights Reserved

アメリカ

7/13(土)▶19(金)

POINT

## 空母いぶき



『セールスマン』(2017)で数々の賞を受賞したアスター・ファルハディ監督が、ベネチア・クレルト&ハビエル・ブルデュ夫妻を主人公に当書きして脚本を完成させた野心作。ある過去が明らかになることによって広がる波紋とそこで描かれる人間模様は秀逸です!

国籍不明の武装集団に離島を占領された時、日本はどう対処するのか?国民党をうるまの政治家や、「専守防衛」を念頭に最前線で闘う自衛隊の苦悩がしっかりと描かれてユーモラス!ぜひ、身も心も覚悟のうえ、ご参集ください。上映時間205分です!(笑)

日本

7/6(土)▶25(木)

POINT

## 誰もがそれを知っている

『セールスマン』(2017)で数々の賞を受賞したアスター・ファルハディ監督が、ベネチア・クレルト&ハビエル・ブルデュ夫妻を主人公に当書きして脚本を完成させた野心作。ある過去が明らかになることによって広がる波紋とそこで描かれる人間模様は秀逸です!



日本

7/6(土)▶19(金)

POINT

## 長いお別れ



先週6月30日には、中野量太監督が岐阜シネックスに来た!開催したトークショーでは、家族、認知症をテーマに今こそ撮らなければならぬ作品として、この映画に対する並々ならぬ熱い愛を語ってもらいました。蒼井優、竹内結子、松原智恵子、山崎努らが贈る、愛しい家族の物語に泣いてください!必見です。



映画部員No.3  
加藤るみさんの  
オススメ作品!!

認知症になった父とその家族の7年間の時間を、父、母、娘と様々な角度から切り取る。目の奥がゾーンとするほど泣けたのは、自分も家族が大好きだからと思った。大切な家族と観たい映画です。

日本

1

7/12(金)まで上映中

# 岐阜新聞 映画部

【協賛】キリンビール株式会社  
【協力】キネマ旬報社 【企画・制作】岐阜新聞社営業局

## 映画みんな俱楽部 7月の活動

2015年7月に開館した「みんなの森 ぎふメディアコスモス」が間もなく開館4周年を迎えます。ワクワクすることに取り組み続け、先日には来館者数500万人を突破! 7/13(土)のアートサロンでは、そんなメディアコスモスから岐阜市立図書館の吉成館長にお越しいただき、図書館の未来についてたっぷり語ってもらいます! 東京、名古屋などで毎日満席の映画『ニューヨーク公共図書館』もお楽しみください!

## 第5回 岐阜新聞映画部 アートサロン 上映&トークイベント

7/13(土)

12:30~15:55 『ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス』上映  
16:05~16:50 吉成信夫さんトークイベント

全席自由

吉成信夫

(よしなり・のぶお)

1956年東京生まれ。岩手県立図書館初代館長、NPO法人岩手子ども環境研究会理事長などを歴任。平成27年7月の中央図書館開館に伴う公募により、岐阜市立図書館長に就任。



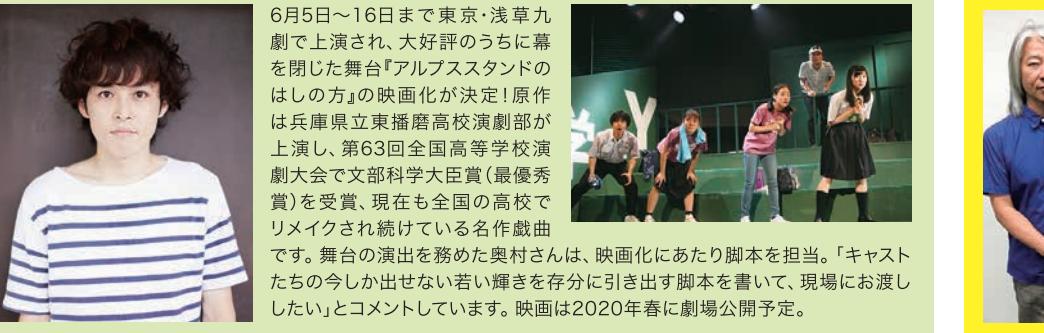
■会場/岐阜CINEX 岐阜市日ノ出町2-20(柳ヶ瀬・高島屋前)  
■定員/80名  
■ナビゲーター/吉成信夫さん(岐阜市立図書館館長)  
■料金/大人:2,000円 大学生:1,500円  
小・中・高校:1,000円 シニア:1,100円(いずれも税込)

## 岐阜CINEX劇場窓口、WEB・ファミリーマートにてチケット販売中!!

WEB・ファミリーマートで  
ご購入の方へ  
※お申込みには「岐阜新聞映画部チケット」への会員登録(無料)が必要です。  
WEB・ファミリーマートでの購入方法はこちら  
※チケット券面額以外に手数料が別途掛かります。  
お問い合わせ 岐阜CINEX TEL 058-264-7151 https://www.funity.jp/tickets/gifus/showlist



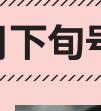
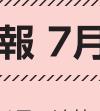
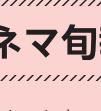
劇団献身主張  
美濃加茂市出身 奥村徹也さんが演出を手掛けた舞台  
『アルプススタンドのはしの方』映画化決定!



岐阜新聞映画部Webや公式SNSでは、  
映画部ライターによる作品評などを紹介!

岐阜CINEX上映作品をはじめ、最新映画の作品評も掲載されていますので、ぜひご覧ください。

情報発信中!!



『キネマ旬報 7月下旬号』

映画みんな俱楽部 限定上映作品入場料金

大人 (1,800円のところ) <b>1,500円</b>	大学生 (1,500円のところ) <b>1,300円</b>	シニア (1,100円のところ) <b>900円</b>	高校・中学・小人 (1,000円のところ) <b>800円</b>
-------------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------	---

サービス

ステー

ド

リ

ス

テ

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

上映作品に関するお問い合わせ 岐阜CINEX TEL 058-264-7151 岐阜市日ノ出町2-20(柳ヶ瀬・高島屋前)



7/13(土)▶25(木)

POINT

## 轢き逃げ 最高の最悪な日



俳優・水谷豊が映画監督として『TAP THE LAST SHOW』に次いで2作目となる本作。轢き逃げ済みながら、ぜひ貴方の立場から考えて欲しい映画です。轢き逃げという事件の加害者と被害者、それを取り巻く人たちの感情を水谷豊が脚本も書いて描写了感を盛り込んでいます。

監督・脚本・主演と大車輪のフランク・デュボスクはフランスの人気コメディアン。『マックインとグースティン・ホーフマンの顔が浮かびます。今回の新作は、音楽もキャストも一新。チーリー・ハムとミッシュ(ボヘミアン・ラプソディのフレディ役!)という新鮮な役者に代わったけれど、これがまたいい!時代を超えていい映画ですね。』



ここからを生きていくために、「真相」を知らないくてはいけなかった。水谷豊監督が描く、極限の人間ドラマ。

結婚式を3日に控えた秀一は、車で打ち合わせに向かう途中に若い女性を撥ねてしまう。助手席にいた親友・輝の「誰も見てない」という発言で、偶然遭遇した美しい女性ジュリー。彼女は野上照代が語る映画「羅生門」の悲劇的な運命を抱いていた。轢き逃げした女性の死を知る。一方、突然一人娘を失った時山光千・千鶴子夫妻は、最悪の日々を過ごしていた。やがて、娘の日記から明らかになった事件当日の行動に違和感を抱いた光央は、娘の仕事仲間や友人に会いに出ていく。

中山麻聖、石田法嗣、小林涼子、毎熊哉、水谷豊、檀ふみ、岸部一徳監督・脚本:フランク・デュボスク 配給:松竹 時間:108分  
©2018 Gaumont / La Boetie Films / TF1 Films Production / Pour Toi Public

日本



7/20(土)▶8/2(金)

POINT

## パリ、嘘つきな恋



監督・脚本の本作は、反抗期を迎えた娘(芳根京子)に「キャサリン」と名づけられて送り込まれたシングルマザー(篠原涼子)を描いた感動の物語。

インタビュー全文は岐阜新聞映画部のホームページで近日公開予定です! 『今日も嫌がらせ弁当』はTOHOシネマズ岐阜ほか全国で公開中。



トントモナイ嘘から最高の恋が始まる!『真相』を知らないくてはいけなかった。

新たな「最強のふたり」にフランス全土が恋をした、笑いと感動のラブストーリー!!

ナレーション:小林薰  
監督・編集:渡辺智史 配給:有限責任事業組合いでは堂 時間:87分  
©いでは堂

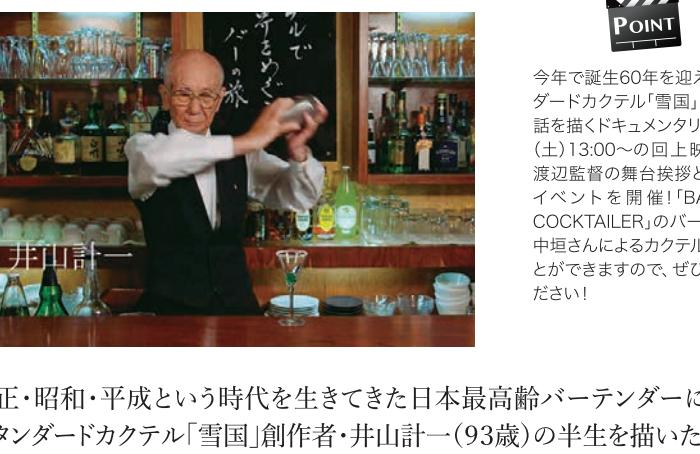
日本



7/20(土)▶8/2(金)

POINT

## YUKIGUNI



監督・脚本・主演のカクテル「雪国」の誕生秘話などを描いたドキュメンタリー。20日(土)13:00~の回上映には、渡辺監督の舞台挨拶とカクテルイヴェントを開催!『BAROSSA COCKTAILER』のバーテンダー中垣さんによるカクテルも飲むことができますので、ぜひお越しください!



大正・昭和・平成という時代を生きてきた日本最高齢バーテンダーにして、スタンダードカクテル「雪国」創作者・井山計一(93歳)の半生を描いた物語

BARは人なり。この言葉を体現するように、井山計一さんのカクテルを飲み、話を聞くため、全国からカクテルファンが訪れる。誕生から60年を迎えるカクテル「雪国」の誕生秘話、時代を超えて愛されるカクテル、そのグラス越しに映る井山さんの半生、撮影中に最愛の妻を亡くし、別れを機に家族との絆を取り戻していく姿、激動の時代を経ても古びない「美しさ」「愛おしさ」をめぐる珠玉の物語。

BARは人なり。この言葉を体現するように、井山計一さんのカクテルを飲み、話を聞くため、